

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名 (ユニット名)	グループホーム杉山手
所在地 (県・市町村名)	大阪府枚方市杉山手3丁目27番12号
記入者名 (管理者)	小林 民子・小林 貴弘
記入日	平成19年10月20日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念：自然に囲まれた環境の中で心豊かにその人らしく、安心と希望をもちてるグループホームを目指します。	国として地域に根ざした介護サービスへと新たに見直され、当事業所も新たになった理念をもとに、より地域に焦点をあてた取り組みを行っていきたいと思っております。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム玄関入り口に理念を掲示、不定期発行のホーム内便りにも掲示。それを確認して頂き、職務に就いて頂いています。	これからも、理念を大切に、より地域と繋がりを持ち、職員一同職務に就いていきたいと思っております。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議を通し、また来居の際お話をする機会を大切にし、色々な相談をし合い、協力してよい介護ができるようご家族共に取り組んでいます。今地域自治会で認知症についての勉強会を行う準備をしています。	他事業所、地域包括支援センターと共に自治会で勉強会を行います。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々にはお声をかけて頂くなど、また取れた作物等のおすそわけをし合うなどしています。他にもピアノ演奏などして頂くなど交流しております。	認知症の勉強会を通して、より地域で認知症を含む障がいをもっておられるの方々を見守っていただける地域になればと思っています。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会等参加できる機会はなかなかありませんが、管理者が自治会に入っている為、交流は行っております。散歩中も色々な方々でご挨拶できる関係になっています。	○ これから、事業所のある自治会に老人会が作られる話が出ていますので、発足次第交流をより深めていきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域で認知症についてお話しができるよう、職員は国家資格である精神保健福祉士の資格を取得しました。また、キャラバンメイトという認知症について地域に理解を広めようという取り組みにも参加しています。次にそれらを活かせるよう今認知症についての勉強会を自治会で行う準備をしております。	○	左記と同様
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の内容を職員一同で検討し、改善の取り組み、また話し合いでこちら側として気になっていた書類等の発展を試みました。		これからも、ご指摘頂いた部分を含め、よりよい介護ができるよう取り組んでいきます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	約二ヶ月に一度実施している運営推進会議では、その二ヶ月の間について報告させて頂き、サービスを提供するなかで入居者・職員・ご家族の悩み等の相談にのって頂き、そこで話し合った事を実際サービスに繋げております。その試みをまた次の機会の会で報告相談しています。		これからも多岐にわたり相談し、お力をお借りできればと思っております。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域での認知症についての勉強会の開催に向け、色々と相談にのって頂いています。運営推進会議でサービス向上について話し合った事をその後も色々と話し合い、お力をお借りし、向上に努めています。		運営推進会議を通してより連携してサービス提供の向上がはかれればと思っております。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護等に詳しい精神保健福祉士を設置し、また、今はリスクマネジメントに関する資格を取得する為、取り組んでいます。		加えてリスクマネジメントを習熟中です。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に職員間で交流を持ち、また、地域包括支援センターとの交流のなかで虐待問題を含め話し合っております。		より詳しい内容について地域包括支援センターお力をお借りして勉強をしていこうと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	まず、入所前にご本人を含め面談を行い、その際にサービスについての説明、また色々な質問にもお答えしています。その後の契約時も書面を通して、分かりやすい言葉で説明を行っています。それ以降も細かい部分での説明を行いご相談にも応じています。	これから連携を密にしていきたいと思っております。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に市より相談員の方々がかかります。利用者の方々に対して個人的な相談にも別室等プライバシーを守り解決にむけ取り組んでおります。また施設内相談員を明確にし、全職員から集められた内容を集約し、職員間で話し合い解決にむけ取り組んでいます。	これからよりよくなるよう、利用者の方々からのご意見を大切にしていきたいと思っております。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	何か変化があれば早急にご家族さまへお電話しています。また、毎月書面とお写真にて一月のご様子をご報告しております。	これから連携を密にしていきたいと思っております。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族さまの代表の方にご参加頂いています。ご家族さまより何か質問等ある場合は別室にてお話しをする機会を作っております。その後も職員間で連携し、改善できるよう取り組んでおります。	これから連携を密にしていきたいと思っております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者・管理者も介護の職務に就いているため、職員の方々とも連携を密に取っております。	これから連携を密にしていきたいと思っております。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	イベント等にも職員を増員するなど、他にも職員の方々が休みたい時休めるよう柔軟な勤務を組めるようにしております。また、緊急な事由があった場合も職員が加えてかけつけられる体制になっています。	これからも努めてまいります。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	社会保障や勤務が大変にならないよう努め、職員の方々に長く働いていただけるよう取り組んでおります。その為、あまり職員に変動なく運営しております。	これからも努めてまいります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修参加を推奨し、費用の一部または全額事業所負担で行うとしています。また、不定期ですが、職員用に勉強用の資料を提供しています。</p>	○	今介護支援専門員・介護福祉士の資格取得の為準備しております。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所とも、事業運営、サービスについての相談をはじめ情報交換を密に取っております。</p>	○	これからも連携を密にしていきたいと思っております。また、より連携を密にできるよう、今枚方市内で行政の援助をもとにグループホーム連絡会をたちあげようと思っております。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の方々からの質問・相談にいつでものれる環境にしています。他にも職員が一人で休める部屋を準備し休憩の時間をリラックスできるように取り組んでいます。また、定期的に職員のみで外食での食事会を行っています。</p>		これからも連携を密にしていきたいと思っております。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>共に働いている為、連携を大切にし常に話しをしております。お互いの視点や長所を大切にまた、補い合い協力して全員で同じ目的をもってサービス提供を行っています。</p>		これからも連携を密にしていきたいと思っております。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所前には面談を行い、ご家族さまを含め色々な相談をお受けしています。入所後も何か相談がある時は別室にてお話を伺い、改善にむけ取り組んでおります。</p>		これからも取り組んでいきます。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>当施設に入って終わりではなく、ご家族さまとは継続して一緒に入居されたご家族さまが安心して生活できるよう取り組んでいただいています。その為、一緒に悩み、相談し合っています。</p>		これからも取り組んでいきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	職員間でも相談し、アイデアを出し合い、問題解決に取り組んでいます。他にも地域包括支援センター、行政、他事業所等に相談し、問題解決できるよう取り組んでいます。		職員間でも相談し、アイデアを出し合い、問題解決に取り組んでいる。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずは当施設に馴染んで頂く事を当分の目標とし、その中でご家族、職員等と連携しながら、よりよいサービスが提供できるよう取り組んでいる。その為にも入居前に来居して頂き、面談にお伺いし、面識を深める努力をしています。また、入居後に環境変化が少しでも軽減できるよう、今まで使っておられた家具を持参して頂いています。		左記と同様
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	言い合いをする日もありますが、職員・入所者の枠を超え、全員でよりよい生活ができるよう取り組んでいます。また、お互いの枠を超え、お互いを支え支えあっています。		これからも職員・入所者全員で、協力して生活していきたいと思っています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	よりよい介護を目指すには、ご家族の協力は絶対です。職員はどこまでも職員であり、家族ではありません。職員だから出来る事・関係性、ご家族しか出来ない事・関係性があり、その部分をお互いに理解し合えるよう取り組んでいます。ご家族様・職員・ご本人全員で安心できる生活を目指していける事を目標にしています。		これからも連携を密にしていきたいと思っております。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族のみで介護しており、関係悪化しているケースが多々ありましたが、お互いにちょうどよい距離関係になった事で、お互いが無理のない良い関係に発展しているケースが多くあります。その距離感やケースケースによって違いますので、それを早急に見極められるよう、ご家族様にも協力して頂いています。		これからも双方の関係のクッション剤になり、よりよい関係が築ければと思っております。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年賀状を出したり、ご兄弟に会いに行くなどしています。	○	住んでいた場所より生まれ育った地への郷愁を強くもっておられる方が多く、その地へ行く事ができずとも、海や山などに馴染みのある方や何か馴染みのある物も見つけ、近郊で実現できるよう取り組んでいきたいと実現に向け今話し合っています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を保つ為、職員が常にクッション剤の役目を果たせるよう取り組んでいます。調理を手伝って頂くなど、利用者同士で何かを媒介して関わり合いを持って頂くよう取り組んでいます。		左記と同様

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後もご家族にその後のご様子をお聞きするなど、亡くなられた後もご葬儀に参列させて頂くなどしています。		これからもよりよくなるよう、取り組んでいきたいと思っております。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「会話」を大切にしています。時には言い合いになりますが、その中で始めて思いを吐露できる事も多々あり、それらの思いからよりよい方向に自己実現ができるよう、ご本人・ご家族様の意向をもとに、協力して実現に向け取り組んでいます。		これからも少しでも楽しんで頂けるよう、努めていこうと思っています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前、入所後もご家族、ご本人から、色々と聞き取りを行い、よりよくなるよう取り組んでいます。		これからも努めていきます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	医師の指示のもと、准看護師・精神保健福祉士などの専門職を含め、職員一同で話し合い、取り組んでいます。		これからも、よりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人・ご家族双方から希望や相談をお聞きし、職員全員でアイデアを出し合いながら、それをケアマネージャーと共にケアプランに反映させています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に囚われず特筆する変化があった場合は介護計画の見直しを職員一同、ご家族さまで検討し、その後ご本人・ご家族にその内容を説明相談し、協力して新たな計画を作成している。	○	まだまだ、即座に作り直せるほどの体制が整っていないので、まずはコンピューターのソフト面等により力を入れていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・日誌と日々記入し、それを共有し、利用しながらサービス向上を目指し取り組んでいます。また、記入に関して、出来る限り「何があったか」だけでなく、ご本人の感情や職員の感情の乗った文面にしていくよう心がけています。		左記と同様
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	小規模である為、フットワーク軽く色々な対応を試みています。また、多職種の資格を有する職員で構成されているので、その得意分野を最大限に活かせるように取り組んでいます。		左記と同様
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティアの方々に音楽会を開くお手伝いをして頂く事や、消防訓練に際し、消防隊の方にアドバイスを頂くなどしています。	○	まだまだ、地域と協力し合える部分があると考えています。まずは、こちらからアプローチしていけるよう、今準備をしています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	医療関係の方面でサービスを利用させて頂く事や、地域市町村単位で行われているサービスを利用できるよう取り組んでいます。	○	これからもよりよくなるよう連携を密にしていきたいと思っております。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	施設内での囲い込みにならないよう、地域包括支援センターの方々には色々な方面で相談報告等を行い連携をしています。		これからもよりよくなるよう連携を密にしていきたいと思っております。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診の先生を中心とし、個人的に必要な医療に関して、その方に合ったその分野を得意とする医療機関を選び適切な医療が受けられるよう、取り組んでいます。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		これからよりよくなるよう連携を密にしていきたいと思っております。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録に関して、もしも、ご本人が読まれても問題のない内容になっています。保管場所も入居者が来られない場所に保管しています。 全員個室であり入浴等もお一人お一人である為、プライバシーは守られています。また、入所者同士でもあまり知られたくない事については伝わらないようにしています。	○ 記録等のファイリングに関してもう少し、整理をしようと試みています。いくつかは改善されました。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	できる限り閉じられた質問(yes no)ではなく、自分から選択できるように開かれた質問を心がけています。ご本人の「～したい」という意思をできる限り尊重できるよう支援しています。	これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度は施設のタイムスケジュールにそって生活して頂いていますが、それ以外にご自由にして頂いています。また行事等に対しても参加・不参加を自己決定して頂いています。	これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容は訪問の方をお願いしています。頭髪に関して、本人と美容師の方で話し合っ決定して頂いています。その人らしい身だしなみについて、不潔行為や、一般常識で問題ない着衣(半裸・全裸等以外)であればおまかせしています。	これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	少人数である為、時には食事のメニューを入所者の方に聞いてみてその日の夕食を決めるなど、入所者の方々の希望も取り入れたメニューにしています。食事の準備後片付けもできる方には手伝って頂いています。	これからよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	医師の指示のもと、施設のルールを守ってできる限りの範囲で楽しんで頂いています。ただし、時間や場所と制限は設けています。	○ これからどうしたらよいのかそのケースに合わせて取り組んでいきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おむつを使わない意識を持って頂く事も認知症の進行を遅らせる事に繋がると考えていますので、限度はありますが、できる限りの範囲で機会が減らせるように努めています。排泄パターンも守れるよう、整腸剤も個々にあったもの、量になるよう調整しています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	限度はありますが、できる限り対応しています。	○	これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なかなか寝付けないで睡眠時間が確保できない方がおられる場合、医師の指示のもと睡眠薬を適度に服薬して頂く事もあります。また運動量を増やすなど、気温等睡眠しやすい環境を整える等日々調整しています。睡眠時間もその個々によって違うのでそのように対応しています。それらを日々の生活の様子から集め検討実行しています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご家族、ご本人から趣味や好きな事をお聞きし、また、新たに開発できるようアプローチをしています。実際に今まで絵を描いた事がなかった方が、塗り絵からスタートし、色の工夫を始め、今は創作画を描かれています。	○	もっと多くの事を通じて楽しんで頂ければと、良い方法を模索しています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を使う事は大切ですが、お金を持つ事が常に大切とは考えておりません。お金を常日頃から所持する事で起こる不安やトラブルは多々あり、逆に所持する事で安心される事もあり、その方に合った対応をするしかないと考えています。もし所持する時はご家族と話し合い、ご家族と共に金銭管理を行っています。お金を使う機会はこちらからアプローチし、	○	その方にとってよりよい環境を提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	喫茶店に行く事や、買い物、散歩等、希望がかなえられるよう出来る限り行っています。またご本人に提案もさせて頂き支援させて頂いています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族さまには利用者の方とお出かけて頂けるようこちらからもお願いしています。また、遠縁となったご家族さまに会いに行くなど、手紙を出すなどもしています。特に家族とのつながりは職員では絶対に代わりはなれませんので本当に大切に重要に思っております。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人にご家族さまに手紙を書いてみてはと提案し、実際に書いて頂くなどしています。電話に関して、ご様子を見てみると自分から電話をかけるよりも、自分にかかってくる事の方が喜ばれているので、ご家族さまにお願いをし、お電話して頂いています。		もう少し手紙を定期的書いてみて頂いてはと検討しています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入所者さま方の睡眠等を阻害する訪問時間・機会であればいつでも来ていただいています。それぞれ個室がありますので、そちらでご家族さまのみでゆっくり過ごして頂いています。また、何かご家族さまから相談がある時も別室にてお話をお聞きし、こちらからも相談をしています。		なかなか来ていただけないご家族さまへの対応について、どのようにすればいいかと職員一同等検討しています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての指針を作成しております。原則として身体拘束を行わない事は職員内で統一しています。ただし、自傷他害を行った場合もしくは、疑いがある場合やむなく行う事もあります。その場合はすみやかな解除に努め、ご家族様に早急に報告を行います。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在認知症がかなり進んでおられ、徘徊が激しい方がおられる為、どうしても危険防止の為鍵をかけております。それでも、できる限り玄関ドアを開放しておくなど努力しております。	○	これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	試行錯誤をしていますが、排泄をはじめプライバシーを配慮しながら、けれど問題が起きないように出来る限りの見守りを行っています。夜間は排泄時の転倒に特に気をつけセンサーを利用し、トイレに向かう事が職員が何処にいても分かるように工夫しています。		これからも個々の身体状況・認識能力の変化を迅速に把握し、対応できるようにと思っております。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	特に歩行に対して適度な物品を撤去もしくは設置するよう個々にあうよう心がけています。また、画鋲など危険な物品に関してのみ一律撤去させて頂いています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	専門職の方々の指導のもと、職員一同取り組んでおります。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	病院勤務経験者や准看護師を中心に行っています。	○	難しいケースを専門職の職員に任せるのではなく、全職員でより緊急事態に対応できるよう訓練をいっそう行いたいと思っております。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方々、特にボランティアの方々には働きかけています。災害訓練を定期的に行っています。	○	地震災害に関してまだ甘い部分(地震発生後の生活)があると感じられますので、より勉強していきたいと思っております。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居前から考えられるリスク、特に看取り、身体拘束等について説明をさせて頂いてから入居して頂いています。入居後も何かある度に連絡させて頂いています。そして予測されるリスクについてもお話しさせて頂いています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	かかりつけの医師を連携の中心とし、何か変化があれば、医師、ご家族さまと連携を取って、対処・対応させて頂いています。職員間は小さい施設でもある為、少人数であり、日々話し合いの場を持っており、連携は密に行っています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	准看護師・精神保健福祉士を中心に、処方された薬について、改めて調べ、職員・ご家族とも情報を共有しています。精神のお薬では医師より処方された薬・量がかならず適しているとは限らないケースがどうしてもあり(人によって个体差が激しい為)、24時間見守っている当施設で新しく処方された場合は特に記録を詳細にし、後日医師に報告しています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来る限りお薬に頼る事ないよう摂取する水分・野菜を特に気をつけ、また、運動もできるような工夫し、心がけています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入居者の方によって、できる限度はありますが、その方にとって出来る限りの口腔ケアを行っています。そして出来ない部分を援助するよう心がけています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録にも食事量・水分量を記載し、排泄等も一目で分かるよう工夫し記録しています。また、個々の体に合わせた支援を行っています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	医師の指示のもと、定期的に血液検査を行い、対応しています。また塩素を使い滅菌・除菌に日々気をつけ、徹底しています。グループホーム間の連携を普段から密にしている為、情報交換の機会は多いと思われれます。実際に今年のノロウイルスが流行した際も色々な情報交換が行われました。		よりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	掃除や除菌に関する記録ノートを作成し、全員で確かな掃除・除菌ができるよう取り組んでいます。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の民家を改修したものですので、特に近隣から違和感はありません。入り口等庭木や花を植え、安心して頂けるよう特に工夫したわけではありませんが取り組んでいます。	○	看板をもう少し立派なものにしたいと考えています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔であるよう心がけ、季節にあった花や品を設置するなどしています。庭には畑があり、そこで取れた季節の作物を使って調理を行っています。また、同じくニワトリも三羽おり、その為か多くの野鳥がやってきます。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆったり二人がけソファを新たに設置し、限られたスペースを最大限に利用できるよう工夫する取り組みをしています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人一人個室を持ち、入居の時には使い慣れた物品を持ち込んで頂いています。ご家族さまと入所者さまで家具の配置を決めて頂き、設置し、最後に危険が無いかを職員が確認しています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	真冬でも朝一番にリビングの換気をし、暖房を入れ、入所者全員がリビングにそろった所で、リビング以外の居室等全ての換気を行っています。他にも天候に合わせて換気を随時行っています。他にもエアコン等で気温を調整。加湿器・除湿機を使い体に優しい状態になるよう設定しています。ただし、基本的には入所者の方々に時々聞いて調整していま		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを適度に増やす事や、居室等での転倒防止の為にあって支えになるような物品を増やすなど工夫しています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	物品位置などを工夫し認識しやすい環境を提供し、ご自分でできる限りの事をしていただけ、少しでも自信をもって生活して頂けるよう取り組んでいます。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に植物が多々あり、野菜を育てている畑もあり、ニワトリも三羽いる和やかな環境です。その為、色々な草木・動物を愛でて楽しんで頂いています。		これからもよりよくなるよう取り組んでいきたいと思っております。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

最近職員のスキルアップを支援し、力を入れています。今年は国家試験・精神保健福祉士も取得できました。利用者・ご家族さまに喜んで頂ける介護を心がけています。